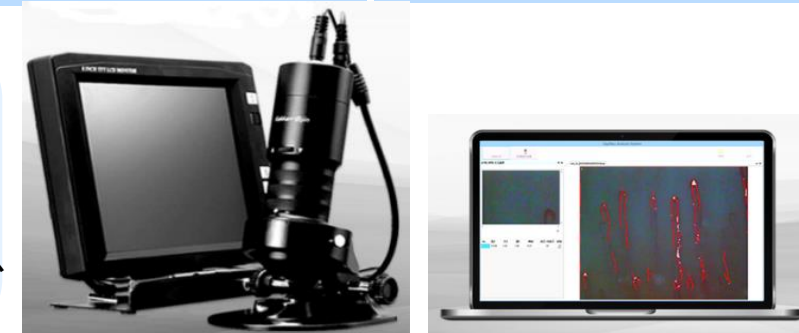


### 企業概要

- 社名：あっと株式会社（大阪府）
- 従業員数：9人      ■ 資本金：30百万円
- 売上高：5千万円
- 知的財産：特許3件、商標2件
- 事業内容：毛細血管解析システムの開発・販売

<https://kekkan-bijin.jp/>



毛細血管スコープ「血管美人」（左）毛細血管解析ソフト「CAS」（右）

### 相談のきっかけ

#### 毛細血管観察機器の開発と数値化で普及を加速する

当社は、非侵襲かつリアルタイムに指の毛細血管の形状と血流画像を観察することで、被験者の身体の微細な変化をチェックし、健康状態が見える化する技術の分野では先駆的な取り組みを行っている。当社技術の普及・定着化を促進するために、より使いやすい次世代毛細血管観察機器と数値化開発を進めており、それに伴い知財戦略の検討と出願戦略が必要となった。

#### 毛細血管解析の普及・定着化

当社の毛細血管解析技術の普及・定着化を行うためには、自分の健康状態を把握する(未病検査)のための高度エキスパート化、画像と数値情報を提供するクラウド化といった技術開発と並行して、医療技術に裏付けされた医療面、社会面での環境作りが必要となっている。これらの取組についても、専門家の助言が有効と考えた。

### 課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪大学との共同研究で毛細血管スコープの数値化ができたことから、毛細管画像数値化システムに関する早期権利を支援する。</li> <li>権利化については、特許権だけでなく商標権も含めて対応できるよう支援する。</li> <li>毛細管観察装置に関する調査が行われていなかったため、調査事業を活用して特許調査を支援する。</li> <li>将来、開発されたシステムをクラウドサービスに応用展開することも視野にいれているため、オープン/クローズの考え方について支援する。</li> </ul> <p>弁理士</p>
血管解析の普及・定着化	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発されたシステムの普及・定着化のためのビジネスモデル策定について支援する。</li> <li>開発されたシステムの認知度高向上のための支援を行う。</li> </ul> <p>中小企業診断士</p>
契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学との共同研究契約、販売契約等の契約締結についての支援する。</li> </ul> <p>弁護士</p>

### 支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪大学との共同研究の成果により観察画像を数値化でき、毛細血管画像数値化システムが開発できた。その成果を早期に特許出願し、権利化できた。</li> <li>特許出願と共に、商標の取得の必要性も認識できたことから、「血管ナビ」の商標出願を行うことができた。</li> <li>特許調査によって毛細管観察装置に関する公知技術と注意特許を知ることができ、開発の方向性や権利化の際に役立てることができた。</li> <li>オープン/クローズについては、専門家の支援により、基本的な考え方を理解することができ、今後の権利保護を行う際の参考となった。</li> </ul>
普及・定着化	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬局、研究者、公的機関とコラボや研究会を、又メディア活動を実施。認知度が向上し大企業からの問合せが増えた。</li> </ul>
契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>秘密保持義務、成果の帰属、商標の使用等の知財条項を盛り込んで、共同研究契約、販売契約を締結できた。</li> </ul>

### 社長の支援成果についてのコメント

数値化に係る発明は、難しい権利化でしたが、お陰様で登録することができました。観察機器の新規開発、情報サービス化、毛細血管解析の効用に対する認知度向上に引き続き取組んでいきます。血管解析による健康の見える化を拡大させ、デジタルヘルスの一翼を担っていきたいと思います。

リーダー：西井克己（中小企業診断士）  
 支援担当者：大野健造（大阪府知財総合支援窓口）